

(2) 形態・意匠

周辺の自然環境と調和し、落ち着いてまとまりのある形態・意匠、素材とする。

錦江湾上から見える地域においては、周辺の自然環境と調和する形態・意匠、素材とする。

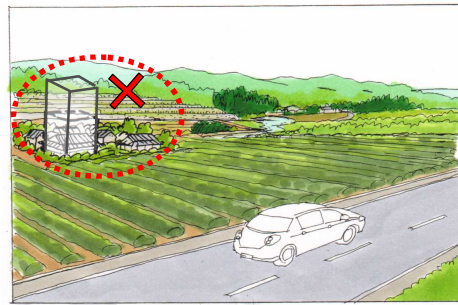
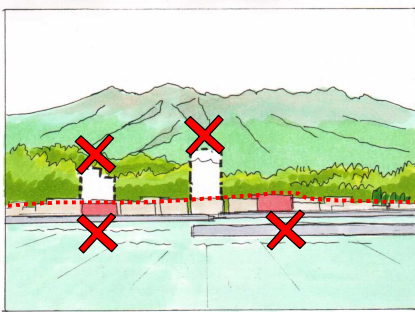
(共に桜島ゾーン)

周辺の自然環境や田園景観と調和し、落ち着いてまとまりのある形態・意匠、素材とする。

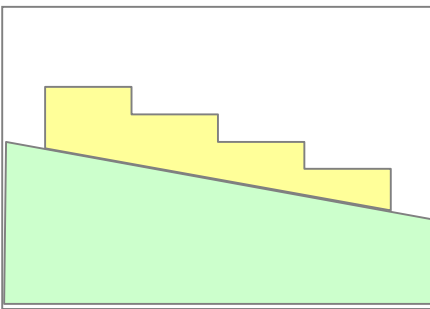
(自然緑地ゾーン)

「周辺の自然環境（や田園景観）と調和し、落ち着いてまとまりのある形態・意匠、素材」とは、国・県道、都市計画道路、公園から見たときに、例えば、建物の屋根は勾配屋根にすること、壁面の色相を2系統（色相の10種の基本色のうち隣り合う3つの基本色をまとめて1系統という。アクセント色は除いて考える）までにすること、素材は木や石などの自然素材にすることなどをいいます。

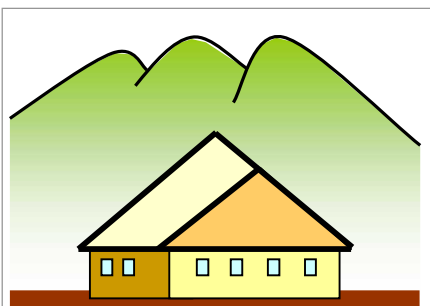
「錦江湾上から見える地域における、周辺の自然環境と調和する形態・意匠、素材」とは、桜島フェリーから桜島ゾーンを見たときに、形態・意匠、素材が周辺の自然環境と違和感がないようにすることをいいます。例えば、壁面の色相を2系統までにすることなどをいいます。



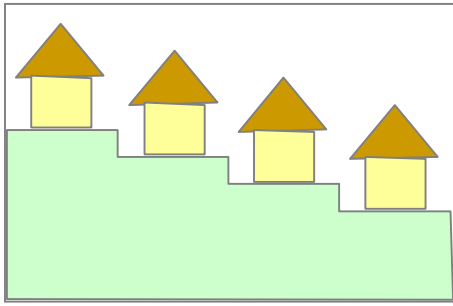
周辺の自然環境や田園景観と調和し落ち着いてまとまりある形態・意匠、素材とする



地形に沿って建物に段差を設けることにより、建物のボリュームを抑え、見る人に地形を意識させている



屋根の形態を工夫することにより、見る人に背景との関係を意識させることができる



斜面地で一定のリズム、一定のボリュームで建物を配置し、地形の調和を図っている



色彩や形態に配慮した自然地域の建物



木材を使用することにより、周辺環境との調和を図っている

【色相の系統】

色相の 10 種の基本色のうち隣り合う 3 つの基本色をまとめて 1 系統といたします。下表の矢印で示す範囲がそれぞれ 1 系統になります。

赤	黄赤	黄	黄緑	緑	青緑	青	青紫	紫	赤紫
R	Y R	Y	GY	G	B G	B	P B	P	R P
←		→							
	←		→						
		←		→					
			←		→				
				←		→			
					←		→		
						←		→	
→								←	→
	→								←

周辺のまち並みと調和し、まとまりのある形態・意匠、素材とする。(市街地・台地ゾーン)
 用途地域の指定のある区域においては、周辺のまち並みと調和し、まとまりのある形態・意匠、素材とする。(自然緑地ゾーン)

「周辺のまち並みと調和し、まとまりのある形態・意匠、素材」とは、和風、洋風等の様式のデザインの方向性や使用する素材・色彩に周辺とつながりを持たせることなどをいいます。特に、壁面のデザインは周辺の建物のデザインと違和感のないものにすることが望まれます。



庇の形態、色、素材など、特定のテーマにより統一する



周辺の建物と著しく形態や色の異なる広告塔などは、まち並みとの調和を阻害する



屋根の形態、建物の規模、色彩や素材などが統一され、落ち着いた住宅地を形成している



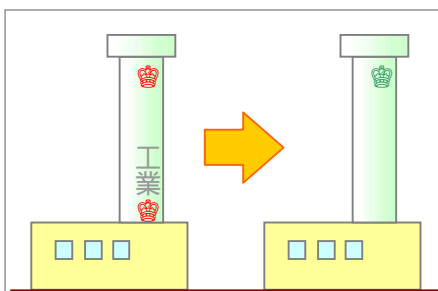
建物を構成する重要な要素である屋根の形態を周辺の建物同士で統一し、空間を引き締めている



建物の形態・意匠が周辺のまち並みと著しく異ならないよう、まとまり感と連続性に配慮されている



隣接する歴史的建造物と調和を図った建物



工作物の表示をロゴマークだけにしてデザイン性を高めている



歴史的な外壁を生かした落ち着いたある建物